

2023年3月期(2022/4 - 2023/3)  
**決算説明資料**

2023年5月26日  
株式会社共立メンテナンス  
〔証券コード 9616〕



01 2023年3月期 決算概要 P.02

02 2024年3月期 業績予想 P.18

# 01 2023年3月期 決算概要

## 02 2024年3月期 業績予想

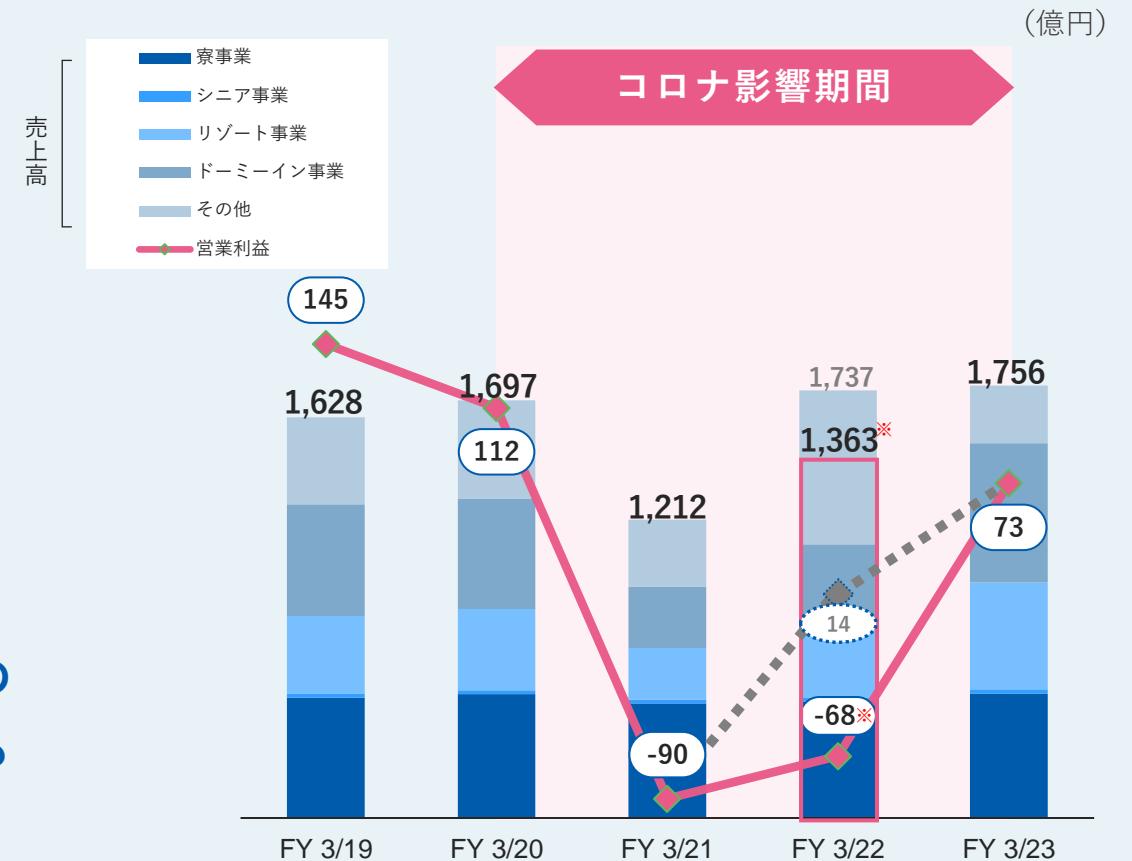
## 寮事業の安定稼働とホテル事業の急速な改善によりV字回復

### 寮事業

期初稼働率は日本人学生が大幅に増加したことにより、前期から1.4ポイント増93.5%でスタートし、期中においては入国規制緩和に伴い留学生が増加

### ホテル事業

3期ぶりに行動制限のない環境下で、全国旅行支援等の観光需要喚起策やインバウンド需要の回復などの効果もあり、大幅な増収増益

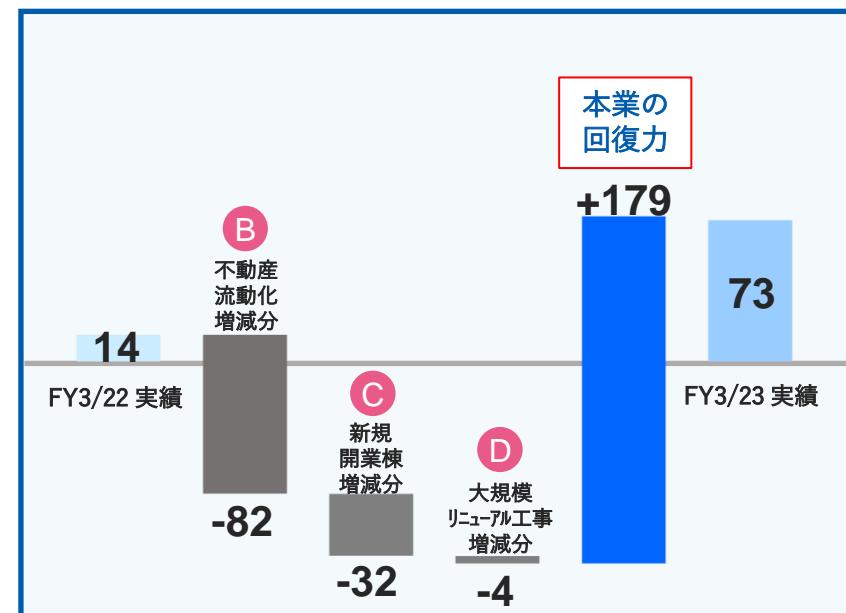


※2022年3月期は実施した不動産流動化（売上高373億円、営業利益82億円）を差し引いて表記

# 連結業績と主要経営指標

億円	FY 3/22	FY 3/23	FY 3/23	前期対比		予想対比	
	実績 (2021/4 – 2022/3)	業績予想 (2022/4 – 2023/3)	実績 (2022/4 – 2023/3)	A			
売上高	1,737	1,700	<b>1,756</b>	+19	+1.1%	+56	+3.3%
営業利益	14	55	<b>73</b>	+58	+411.8%	+18	+33.2%
経常利益	18	51	<b>71</b>	+53	+292.2%	+20	+39.5%
当期純利益	5	28	<b>42</b>	+37	+686.8%	+14	+51.5%
EPS (円)	13.8	71.8	<b>108.8</b>	+94.9	+686.8%	+37.0	+51.5%
減価償却費	60	65	<b>61</b>	+0	+0.8%	-3	-5.9%
キャッシュ・フロー※1	66	93	<b>103</b>	+37	+56.7%	+10	+11.4%
設備投資額	95	164	<b>133</b>	+38	+40.1%	-30	-18.7%

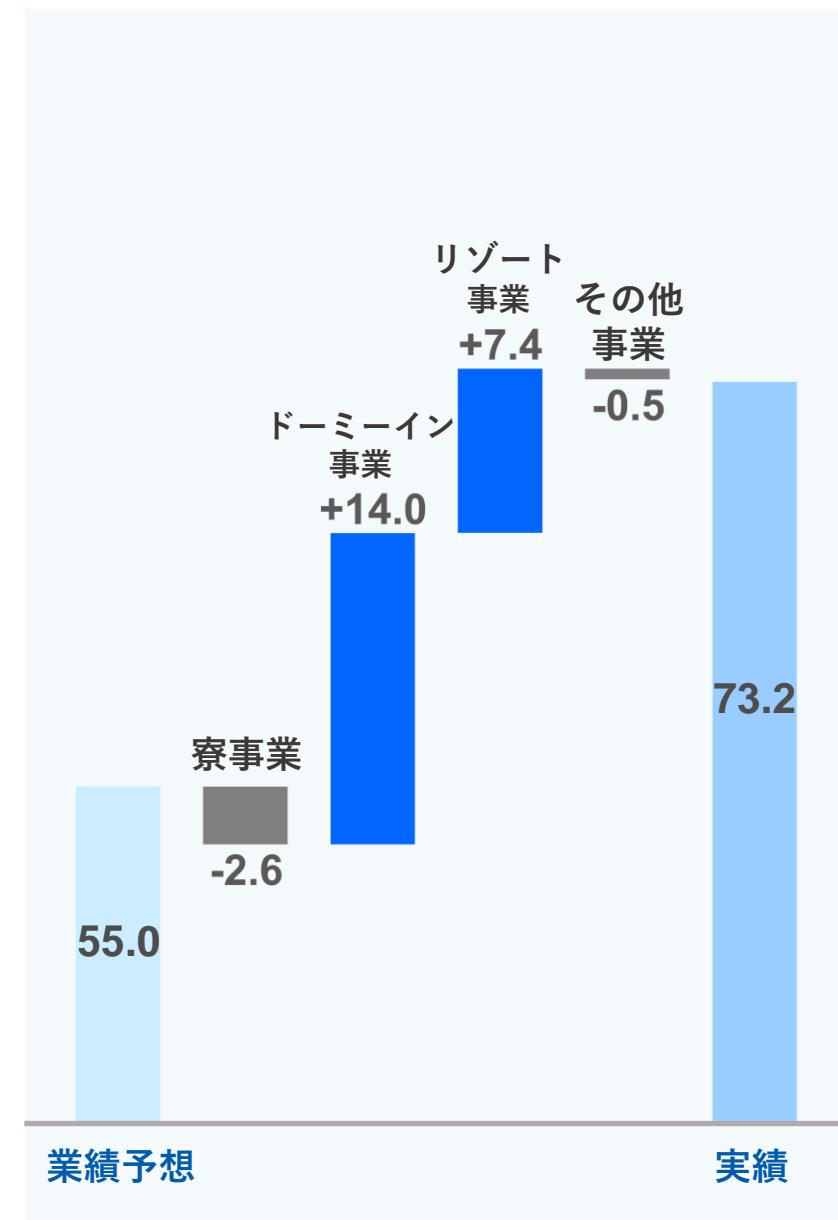
不動産流動化増減分	新規開業棟増減分	大規模リニューアル工事増減分	左記要因除く前期対比
B	C	D	A-B-C-D
-373	+74	-2	<b>+320</b>
-82	-32	-4	<b>+179</b>



※1 キャッシュ・フロー：当期純利益+減価償却費

# 営業利益の業績予想との乖離要因

営業利益 (億円)		1Q (2022/4-6)	2Q (2022/7-9)	3Q (2022/10-12)	4Q (2023/1-3)	通期 (2022/4-2023/3)	主要因
寮事業	予想	12	9	6	19	48	・概ね計画通り
	実績	12	9	5	17	45	
	差異	-	-	-0	-2	-2	
ドリーミン事業	予想	14	26	29	-8	62	・全国旅行支援策の再実施や想定を上回るインバウンド需要の急回復もあり、稼働率とADRともに計画を超過
	実績	14	26	29	6	76	
	差異	-	-	-0	+14	+14	
リゾート事業	予想	-13	-0	5	-20	-28	・概ね計画通り
	実績	-13	-0	2	-9	-21	
	差異	-	-	-3	+11	+7	
その他事業	予想	-3	-6	-9	-7	-26	・概ね計画通り
	実績	-3	-6	-8	-8	-27	
	差異	-	-	+0	-1	-0	
合計	予想	10	28	32	-16	55	
	実績	10	28	28	5	73	
	差異	-	-	-3	+21	+18	



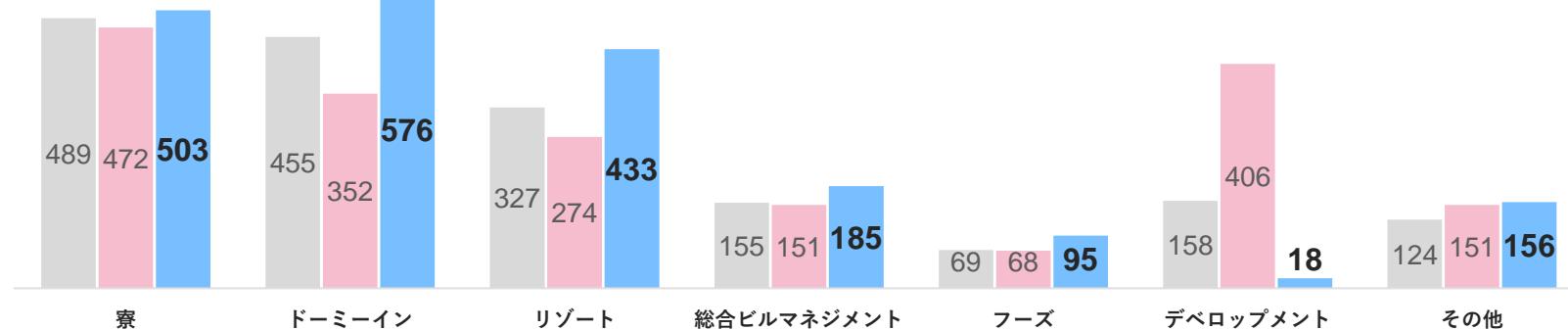
# 売上高及び営業利益の事業セグメント別内訳

## 売上高

■ FY 3/19 実績 ■ FY 3/22 実績 ■ FY 3/23 実績

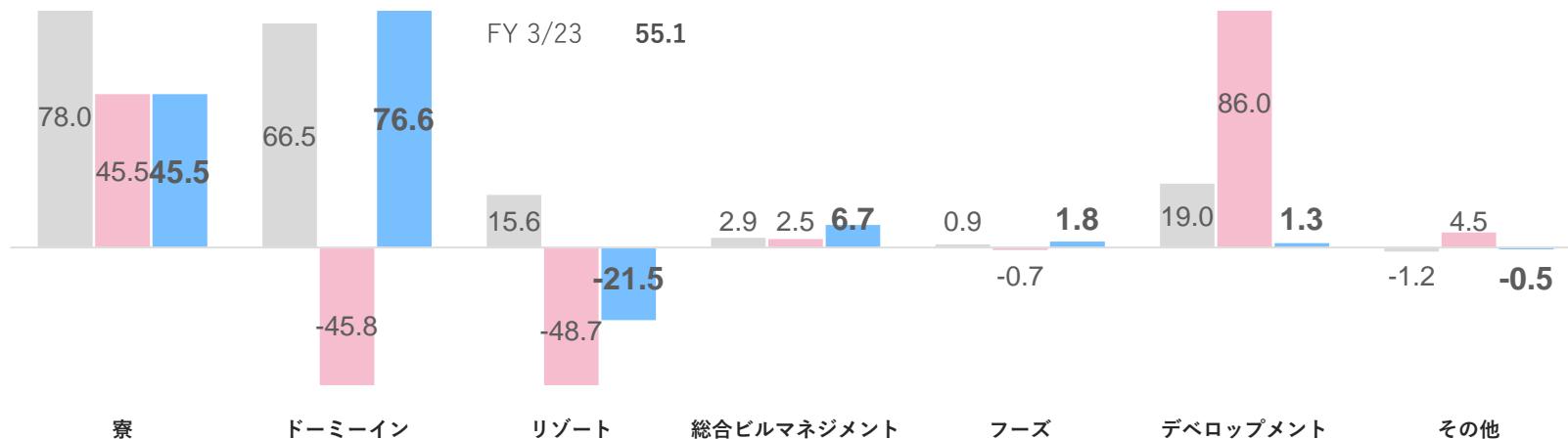
(億円)

ホテル合計  
 FY 3/19 783  
 FY 3/22 627  
 FY 3/23 1,010



## 営業利益

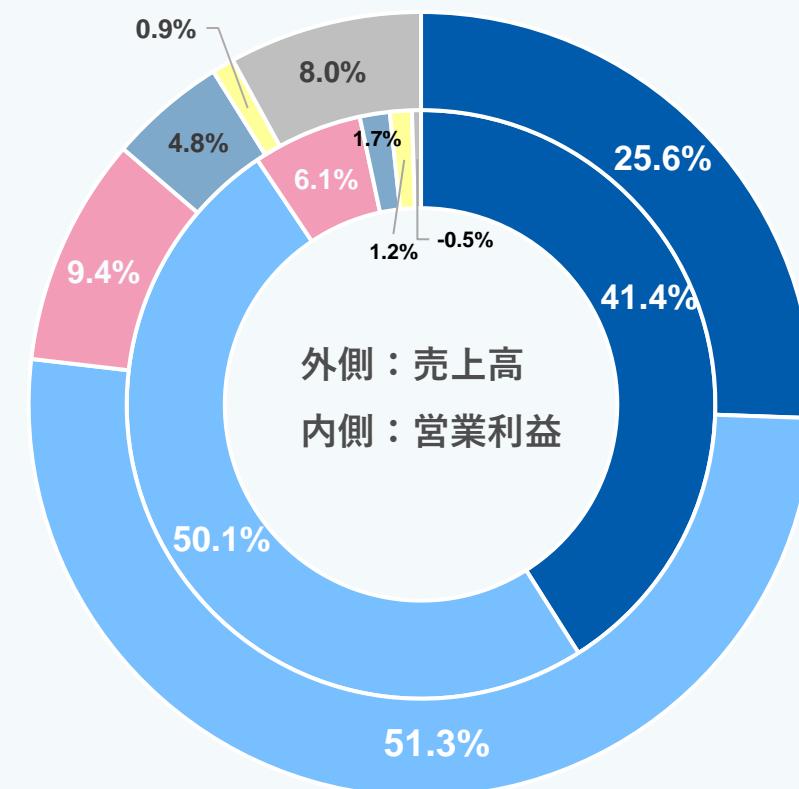
ホテル合計  
 FY 3/19 82.1  
 FY 3/22 -94.5  
 FY 3/23 55.1



## セグメント別構成比 FY 3/23

(セグメント間内部取引消去前)

■ 寮 ■ ホテル ■ 総合ビルマネジメント  
 ■ フーズ ■ デベロップメント ■ その他

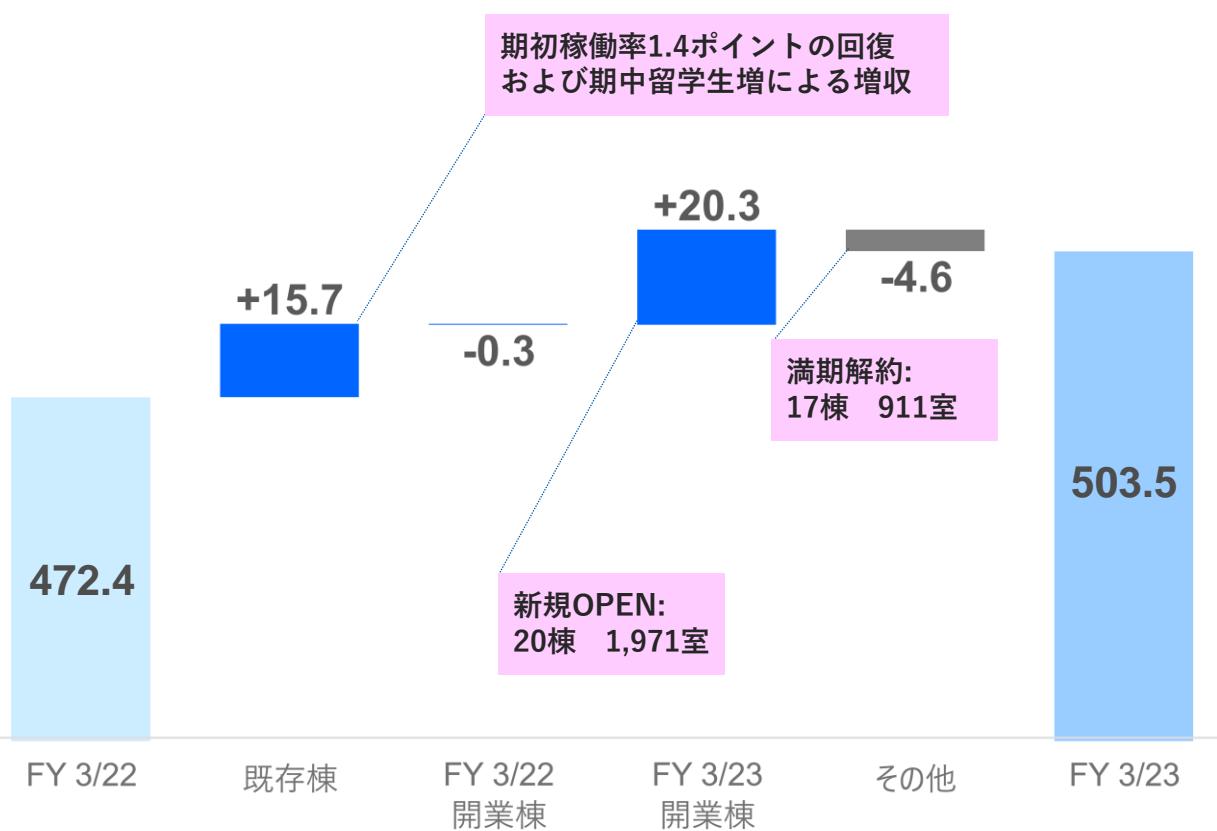


# 寮事業：売上高及び営業利益

(億円)

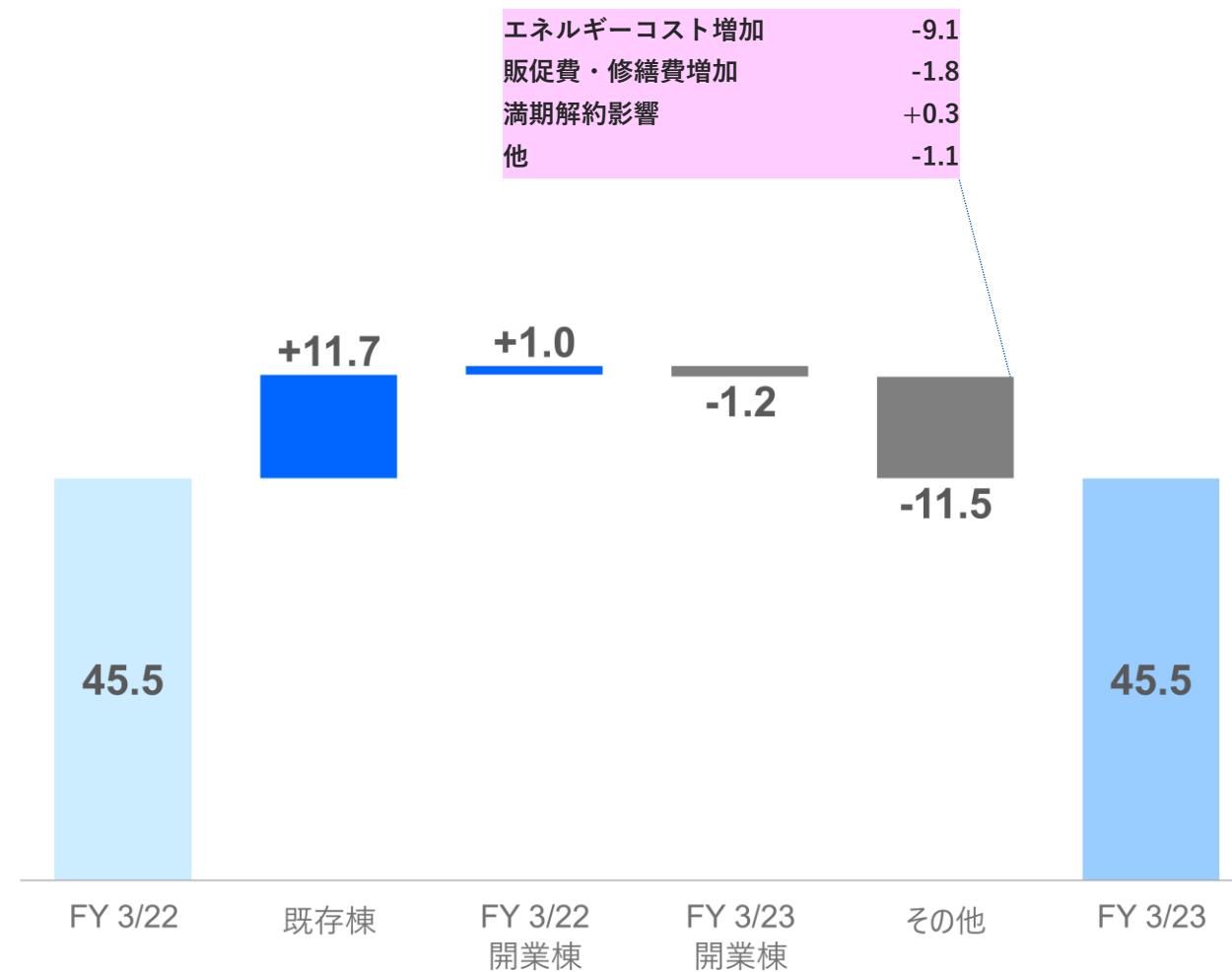
## 売上高

前年同期から 31億円 / 6.6%の増収



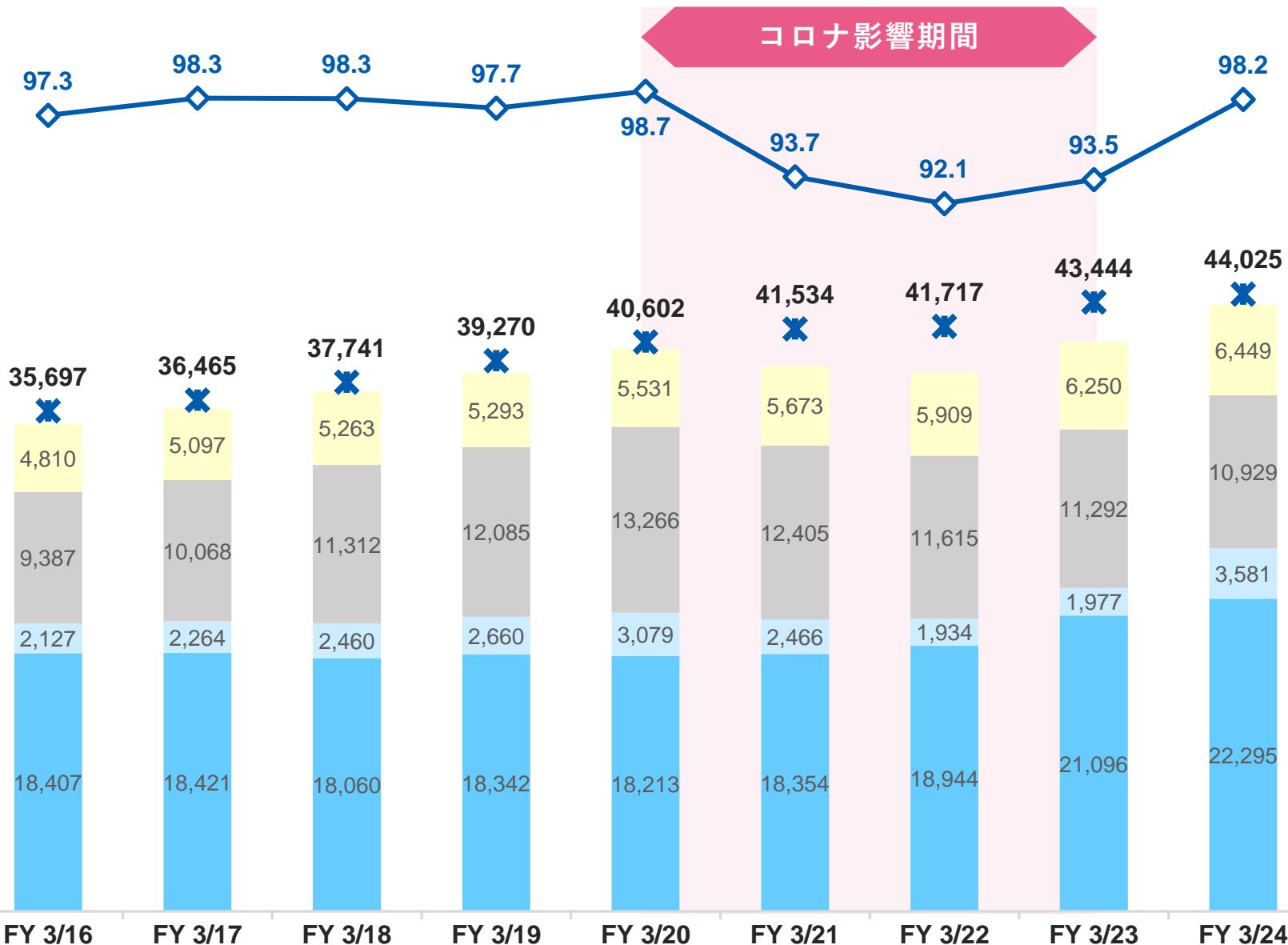
## 営業利益

前年同期から 4百万円 / 0.1%の増益



# 寮事業：期初稼働率及び契約別室数推移

■ 学生 ■ 留学生 ■ 社員 ■ ドミール ◆ 期初稼働率 (%) ✕ 定員数



	FY 3/22	FY 3/23	前期対比	FY 3/24	前期対比
期初稼働率	92.1%	93.5%	+1.4pt	98.2%	+4.7pt
物件数(棟)	502	514	+12	519	+5
定員数(室)	41,717	43,444	+1,727	44,025	+581
稼働数(室)	38,402	40,615	+2,213	43,254	+2,639

## 稼働数の内訳 (室)

	FY 3/22	FY 3/23	前期対比	FY 3/24	前期対比
ドミール	5,909	6,250	+341	6,449	+199
社員	11,615	11,292	-323	10,929	-363
留学生	1,934	1,977	+43	3,581	+1,604
学生	18,944	21,096	+2,152	22,295	+1,199

# ドーミーイン事業：売上高及び営業利益

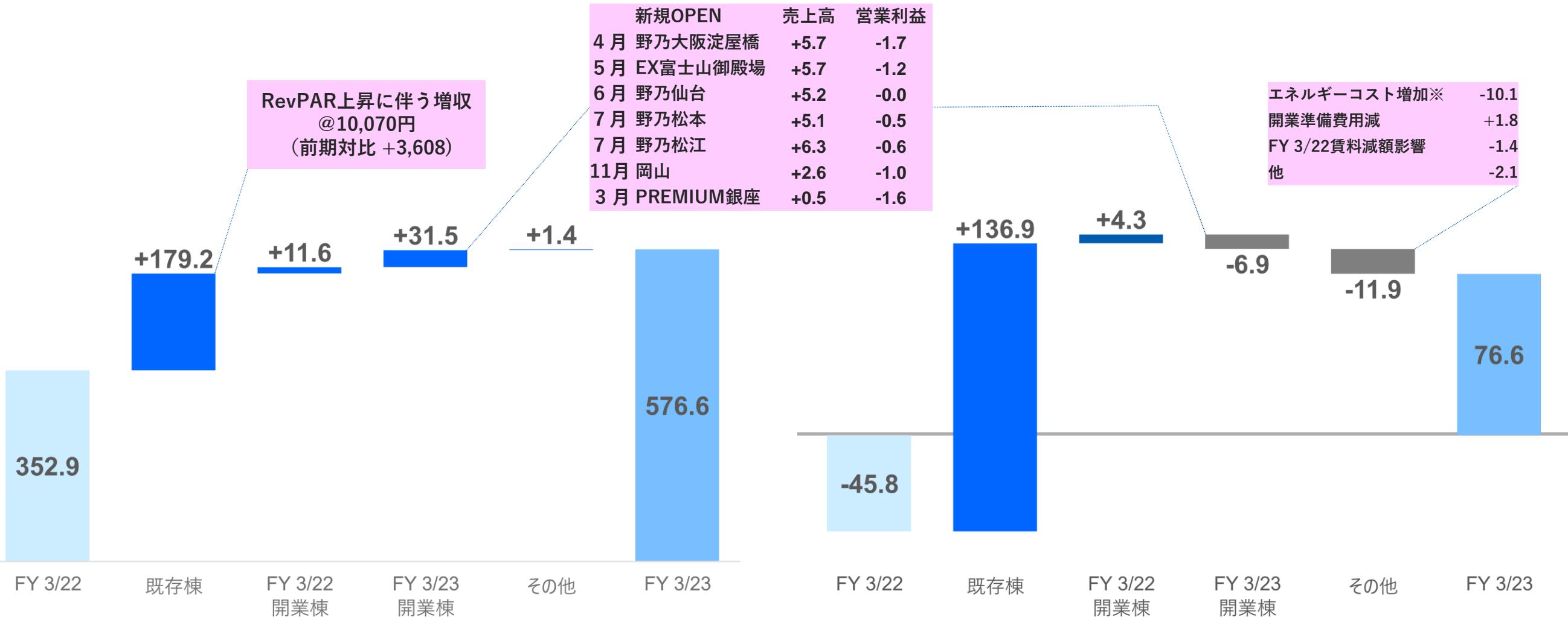
(億円)

## 売上高

前年同期から 223億円 / 63.4%の増収

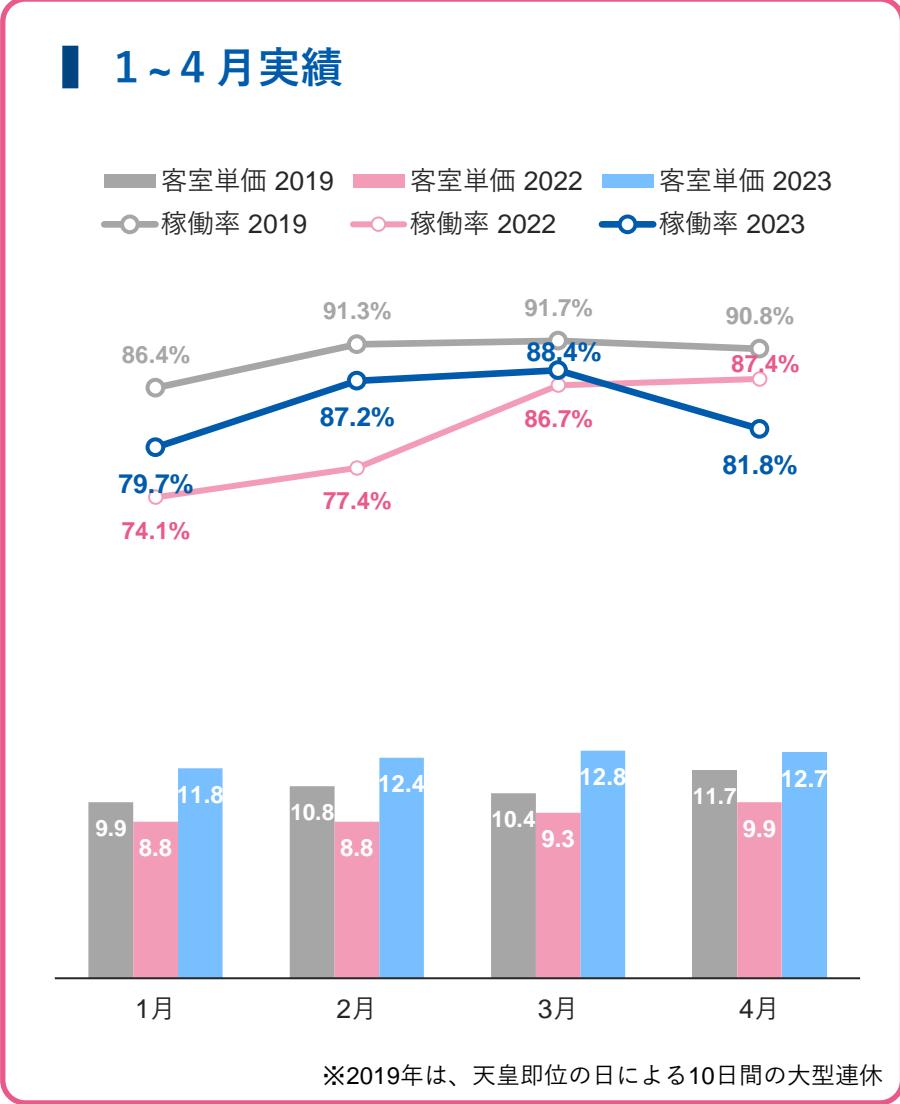
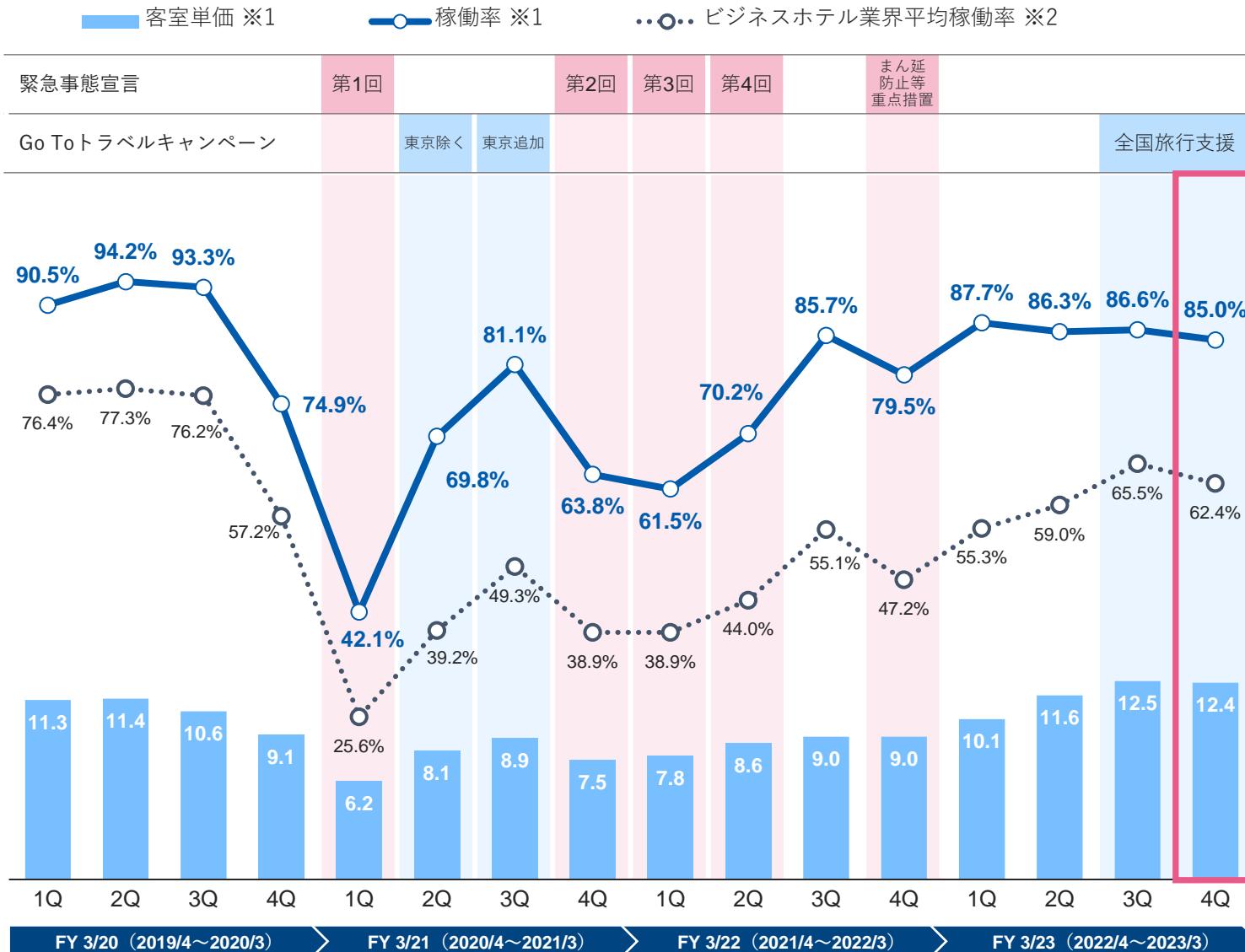
## 営業利益

前年同期から 122.4億円の増益



※RevPAR換算でエネルギーコストの上昇は+198円、前期対比+3,608円のRevPAR回復をもって吸収

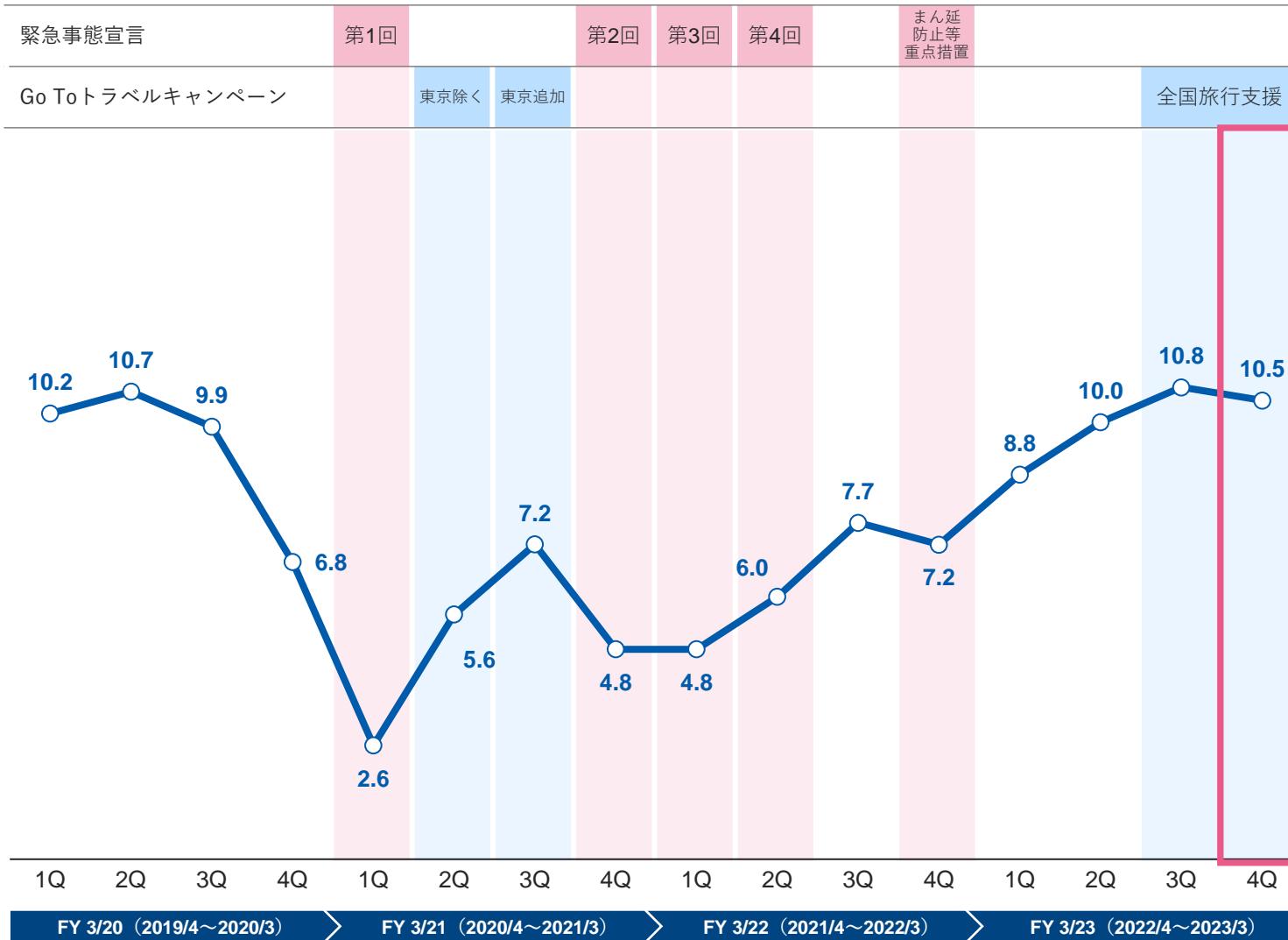
# ドーミーイン事業：稼働率及び客室単価の四半期別推移



※1 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外  
 ※2 出典：観光庁ホームページに基づいて当社作成

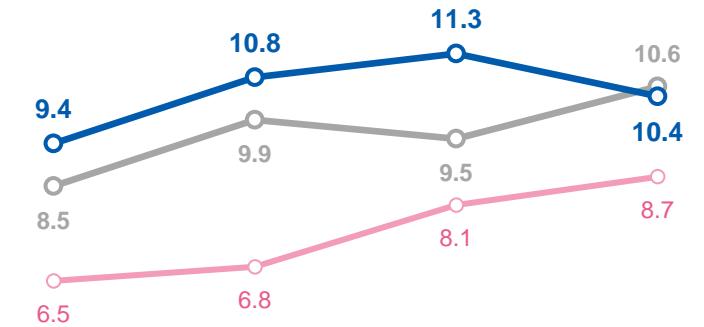
# ドーミーイン事業：RevPARの四半期別推移

RevPAR ※1



## 1~4月実績

RevPAR 2019 RevPAR 2022 RevPAR 2023



※2019年は、天皇即位の日による10日間の大型連休

※1 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外



2022年度JCSI(日本版顧客満足度指数)において、  
ビジネスホテル部門で1位を受賞

日経ビジネス「NPS調査」ビジネスホテル部門  
ドーマーインが1位を獲得

## 顧客満足スコア ビジネスホテル部門

順位	2019年度	2021年度	2022年度
1	↑ ドーマーイン 81.7	⇒ ドーマーイン 82.3	⇒ ドーマーイン 81.9
2	↓ リッチモンド ホテル 81.0	⇒ リッチモンド ホテル 82.2	⇒ リッチモンド ホテル 81.4
3	⇒ コンフォート ホテル 79.1	↑ スーパーホテル 78.8	⇒ スーパーホテル 78.6
4	⇒ スーパーホテル 78.5	↓ コンフォート ホテル 76.9	⇒ コンフォート ホテル 75.8
5	⇒ ダイワロイネット ホテル 77.4	※2020年度は、コロナ禍の影響を考慮し、調査実施なし	

1万人規模のNPS（顧客推奨者）調査において、  
ビジネスホテル部門でドーマーインが1位に選ばれました

順位	ドーマーイン	NPS (推奨者 - 批判者)
1	😊 45.7(推奨者) 😞 13.9(批判者)	31.7
2	😊 39.2 😞 8.8	30.4
3	😊 34.9 😞 15.8	19.1

※2023年1月実施の調査、日経ビジネス調べ

NPSとは

「Net Promoter Score(ネットプロモータースコア)」の略称で、顧客ロイヤルティを測る指標。NPSを測るには、「あなたはこの企業を友人や同僚に薦める可能性は、どのくらいありますか?」とアンケートを行い、0~10の11段階で評価。アンケートの回答に応じて、9~10点を付けた顧客を「推奨者」、7~8点を「中立者」、0~6点を「批判者」と分類し、回答者全体に占める推奨者の割合(%)批判者の割合(%)を引いて出てきた数値がNPSの値となる。



「JCSI(日本版顧客満足度指数)調査」とはサービス産業に開かれた日本最大級の顧客満足度調査

計30以上の業種・業態、約400の企業・ブランドを対象に年度4回に分けて実施

# リゾート事業：売上高及び営業利益

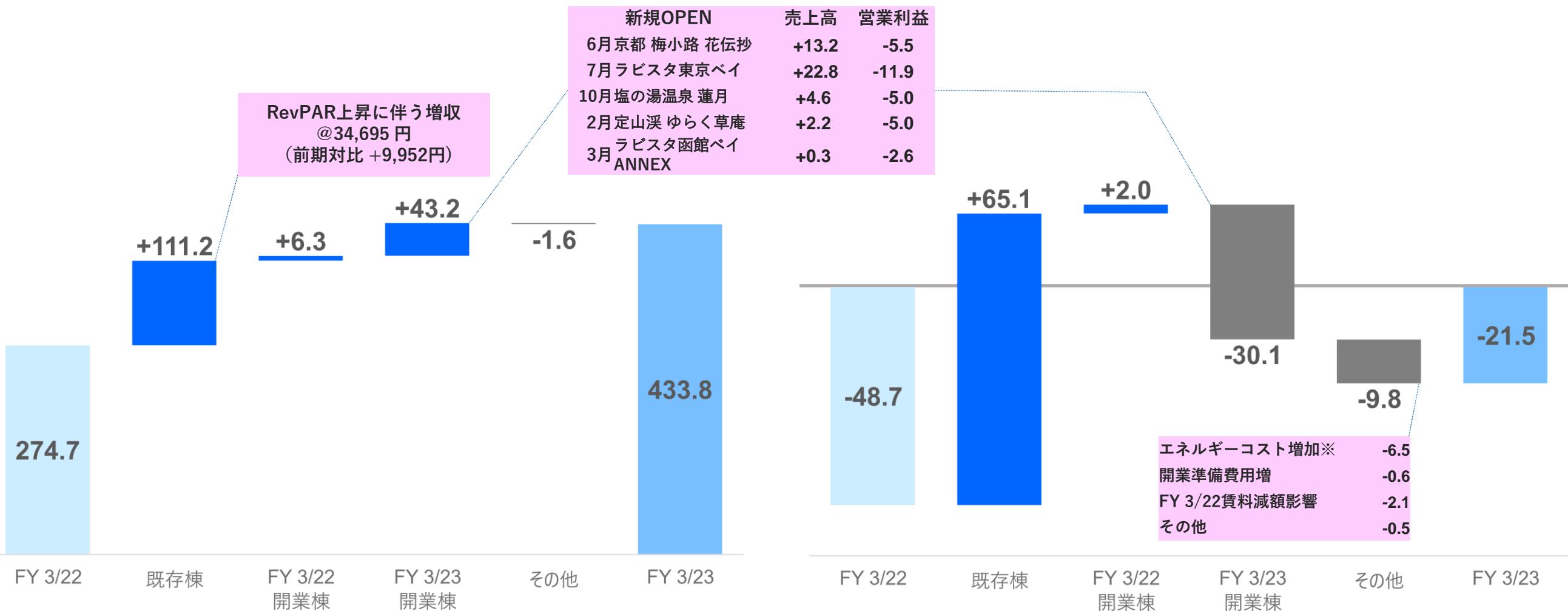
(億円)

## 売上高

前年同期から 159億円 / 57.9%の増収

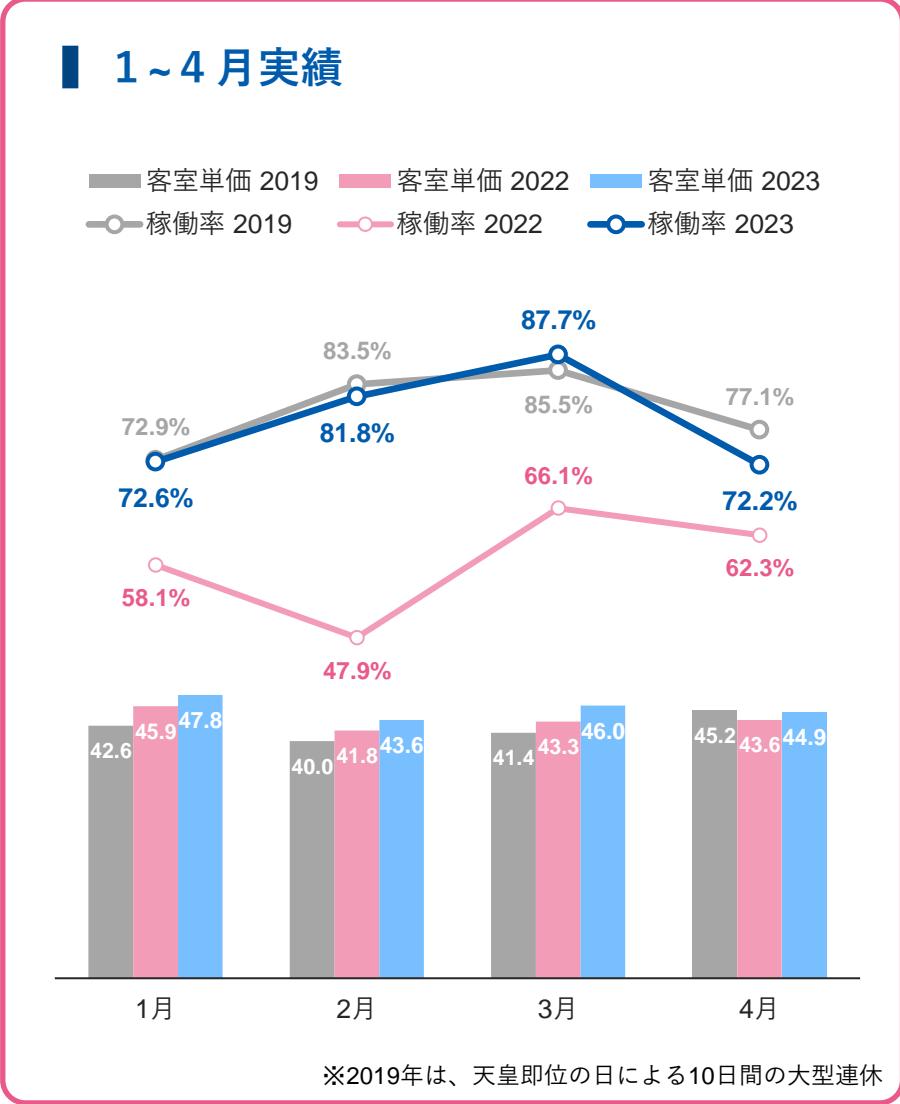
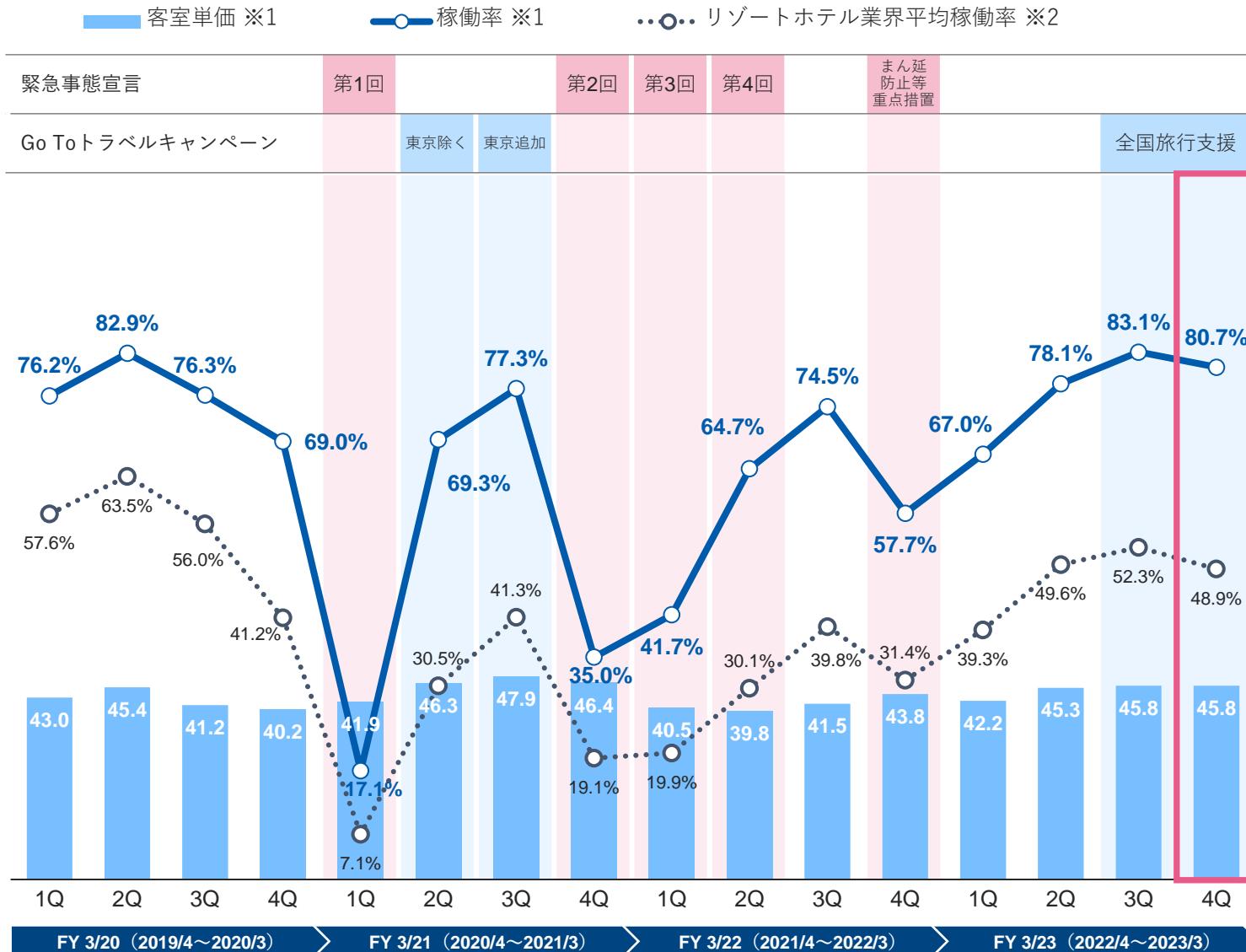
## 営業利益

前年同期から 27.1億円の増益



※RevPAR換算でエネルギーコストの上昇は+596円、前期対比+9,952円のRevPAR回復をもって吸収

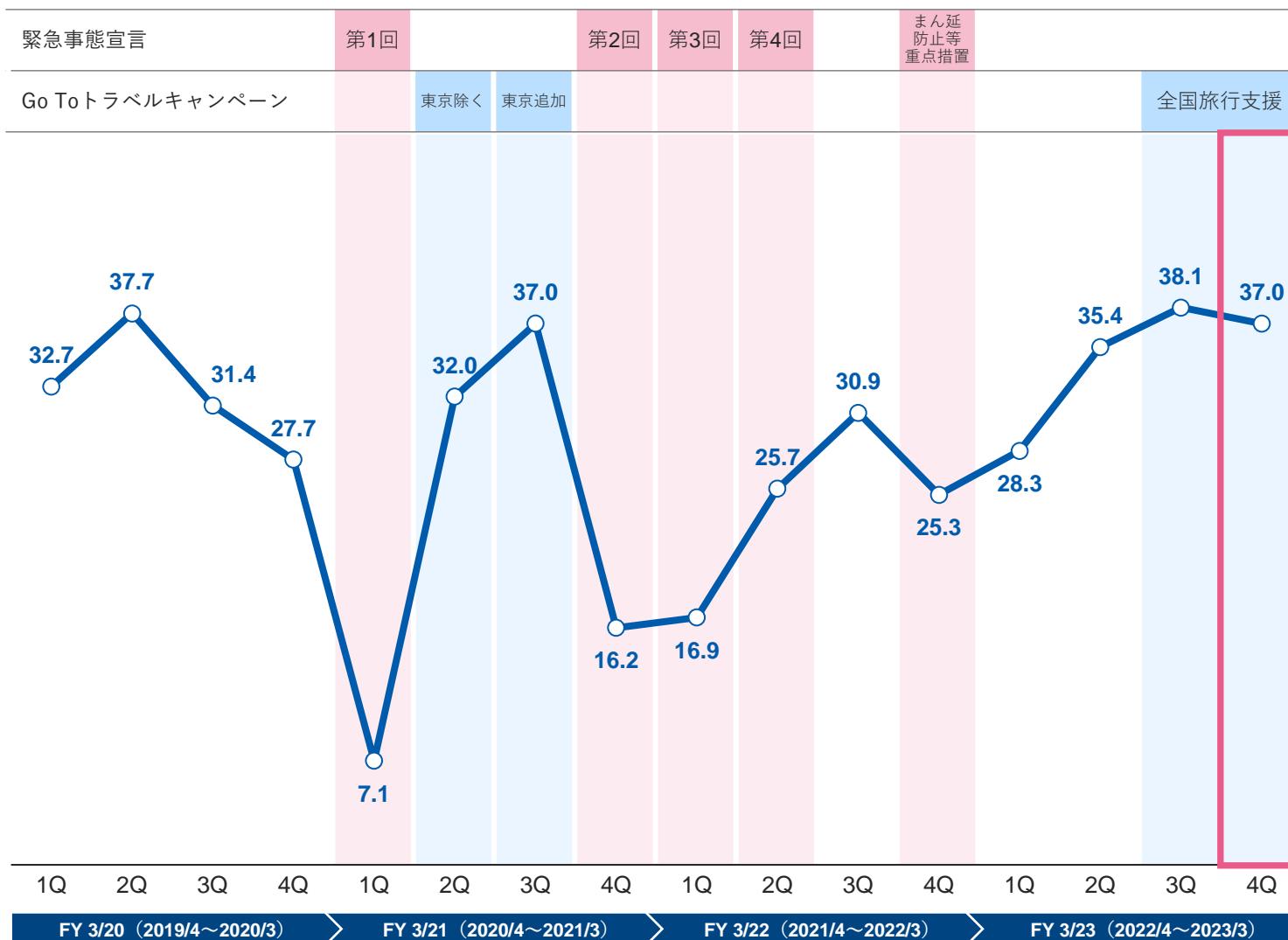
# リゾート事業：稼働率及び客室単価の四半期別推移



※1 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外  
 ※2 出典：観光庁ホームページに基づいて当社作成

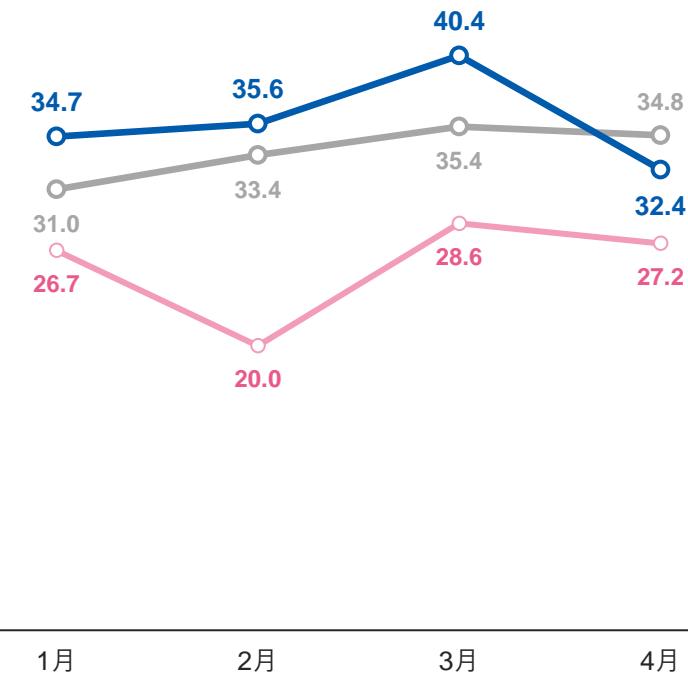
# リゾート事業：RevPARの四半期別推移

RevPAR ※1



## 1~4月実績

RevPAR 2019 RevPAR 2022 RevPAR 2023



※2019年は、天皇即位の日による10日間の大型連休

※1 3期を同一条件下で比較するために2021年4月以降に開業したホテルを除外

## Japan Brand Collection 2023

## JTBが選ぶ サービス最優秀 旅館・ホテル2021年度

### 旅館・ホテルTOP100 (株)メディアパル



ラビスタ東京ベイ



湯けむりの宿 稲住温泉



湯けむりの宿 稲住温泉



いにしへの宿 佳雲



ラビスタ霧島ヒルズ

### JTB サービス優秀 旅館・ホテル 3棟受賞

## 楽天トラベルアワード2022

## 第14回 みんなで選ぶ温泉大賞

### ゴールドアワード



修善寺温泉 桂川

### 日本の宿アワード2022 TOP47



御宿 敷島館



ラビスタ霧島ヒルズ

### 温泉大賞 -満足度ランキング- 2棟1位受賞



【サービス・おもてなし】  
湯回廊 菊屋



【部屋】  
ラビスタ阿寒川

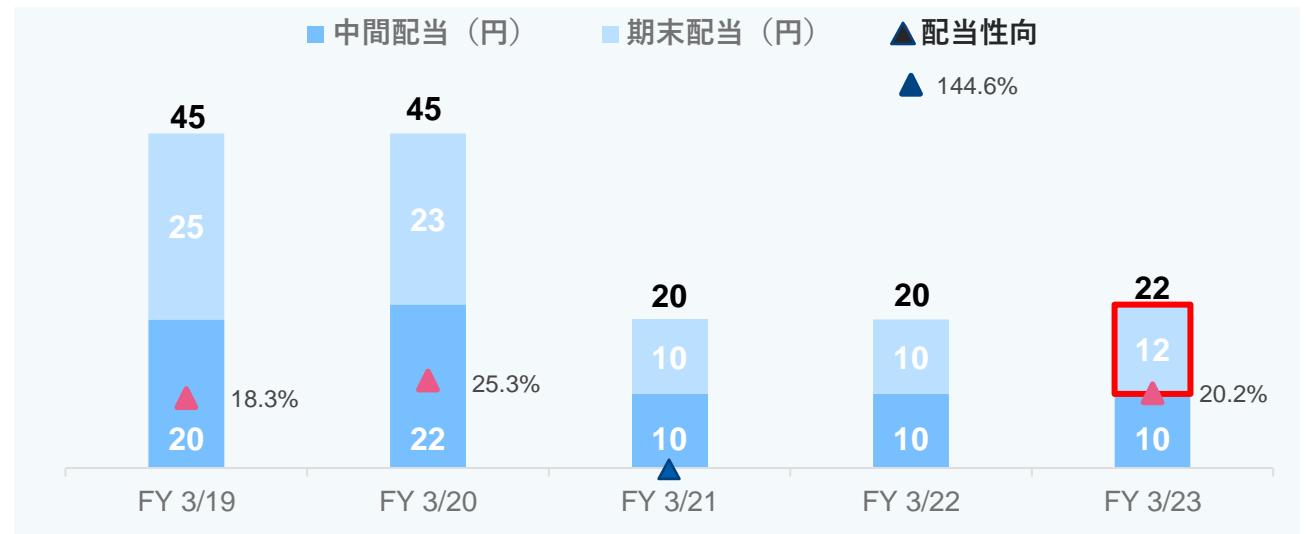
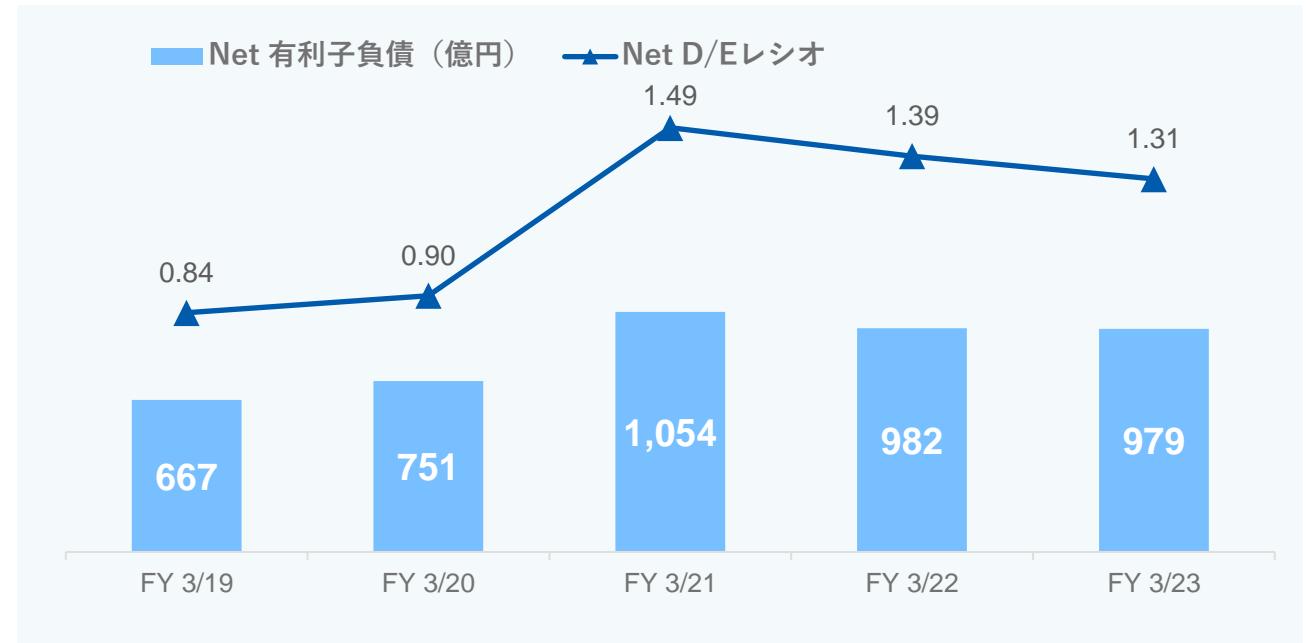
# 貸借対照表・Net D/E レシオ・配当金推移

## 2022年3月末

## 2023年3月末



(注) 有利子負債 = 短期借入金 + 1年以内償還社債 + 社債 + 長期借入金 + リース債務 + CB(転換社債)



01 2023年3月期 決算概要

02 2024年3月期 業績予想

## 寮事業およびホテル事業が回復、一過性費用を吸収して増収増益計画

### 寮事業

期初稼働率は日本人学生が大幅に増加したことにより前期から4.7ポイント増98.2%でスタートし増収増益

### ホテル事業

インバウンド需要の継続的な回復などに伴う事業環境の改善により、コロナ前水準までRevPARが上昇し過去最高益を目指す

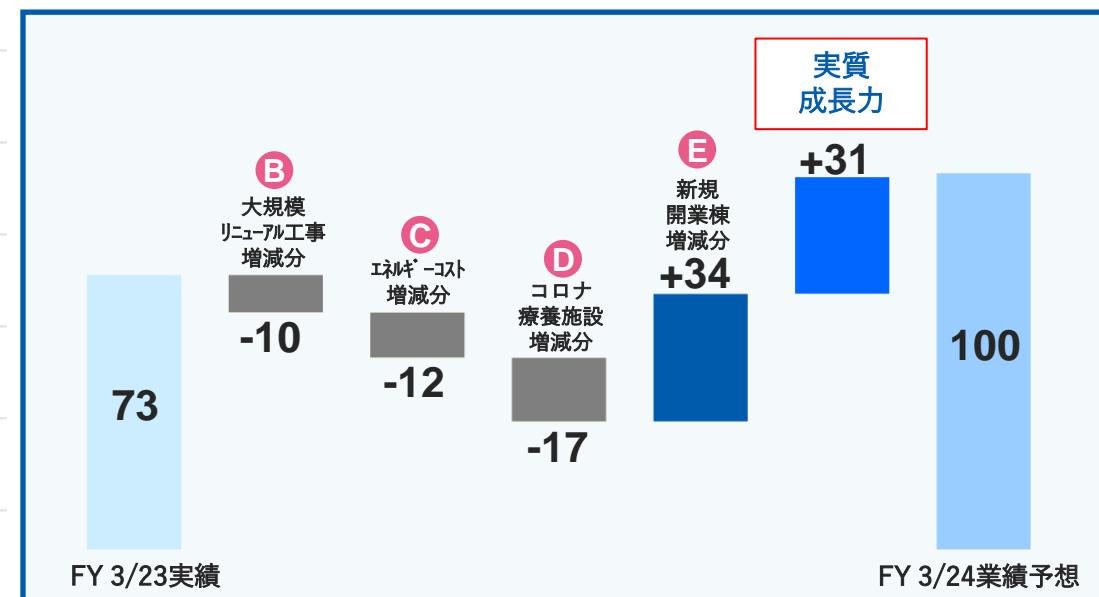
### 一過性費用

大規模リニューアル工事、エネルギーコストおよびコロナ療養施設におけるコスト増を織り込む

# 連結業績予想：主要経営指標

億円	FY 3/23 実績 (2022/4 - 2023/3)	FY 3/24 業績予想 (2023/4 - 2024/3)	前期対比 A	
売上高	1,756	<b>1,980</b>	+223	+12.7%
営業利益	73	<b>100</b>	+26	+36.5%
経常利益	71	<b>94</b>	+22	+32.1%
当期純利益	42	<b>61</b>	+18	+43.8%
EPS (円)	108.8	<b>156.4</b>	+47.7	+43.8%
1株当たり配当金 (円)	22	<b>32</b>	+10	+45.5%
減価償却費	61	<b>70</b>	+8	+14.4%
キャッシュ・フロー※1	103	<b>131</b>	+27	+26.5%
設備投資額	133	<b>200</b>	+67	+50.6%

大規模 リニューアル工事 増減分 B	エネルギーコスト 増減分 C	コロナ 療養施設 増減分 D	新規 開業棟 増減分 E	左記要因 除く 前期対比 A-B-C-D-E
-11	-	+3	+12	<b>+219</b>
-10	-12	-17	+34	<b>+31</b>



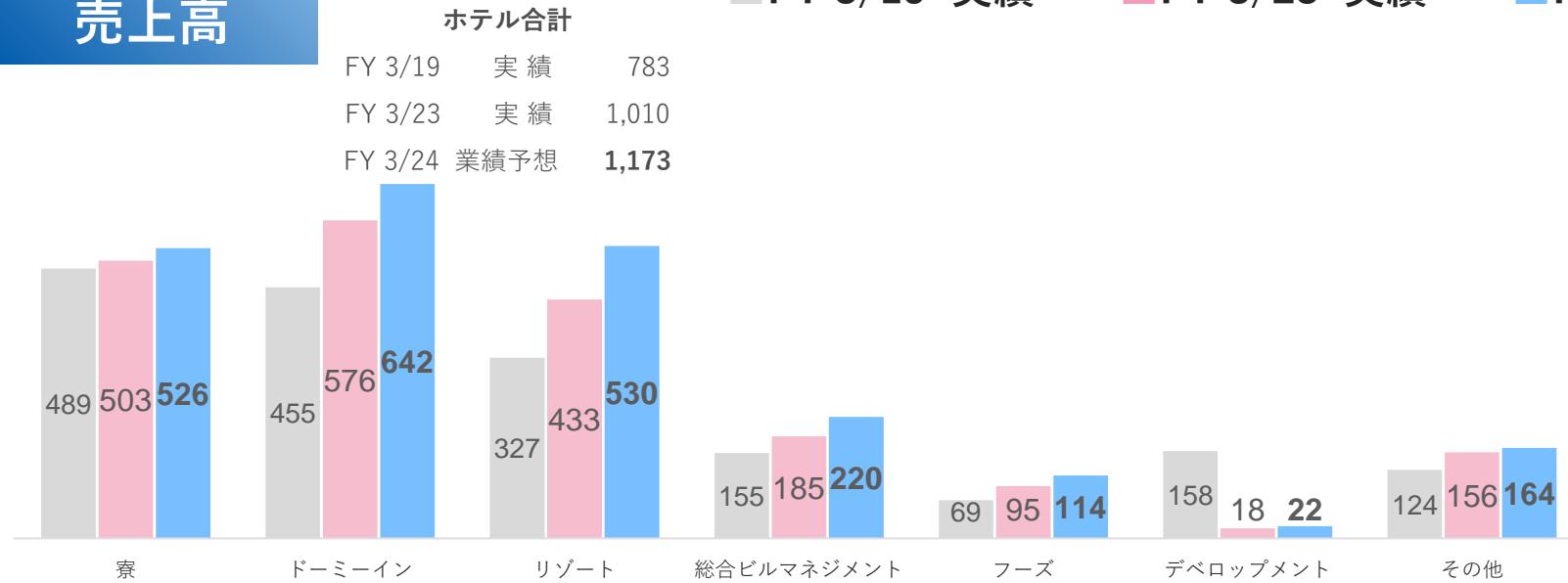
※1 キャッシュ・フロー：当期純利益+減価償却費

# 連結業績予想：事業セグメント別内訳

## 売上高

■ FY 3/19 実績 ■ FY 3/23 実績 ■ FY 3/24 業績予想

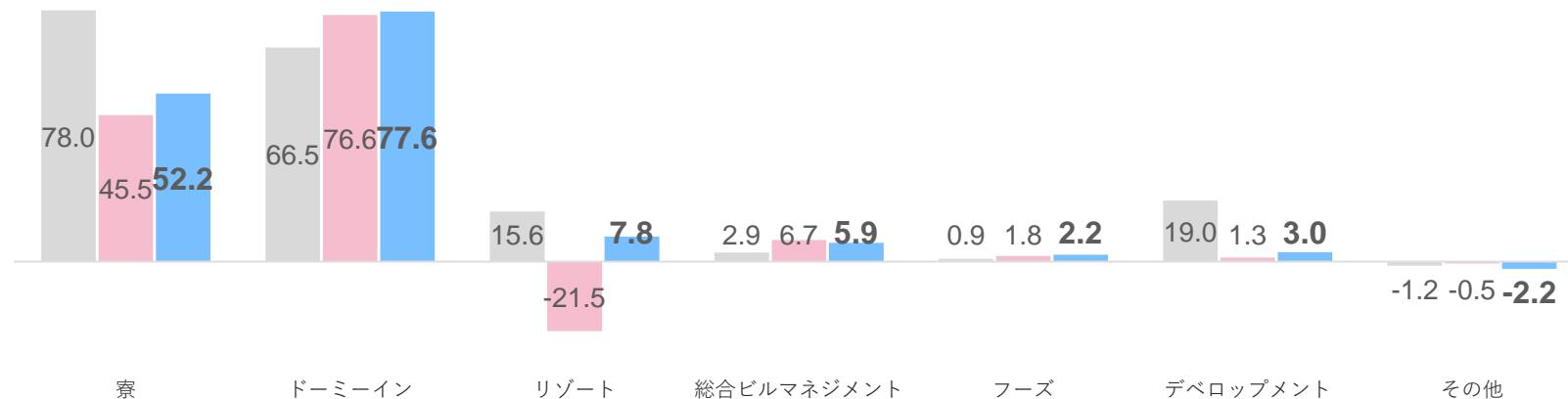
(億円)



## 営業利益

ホテル合計

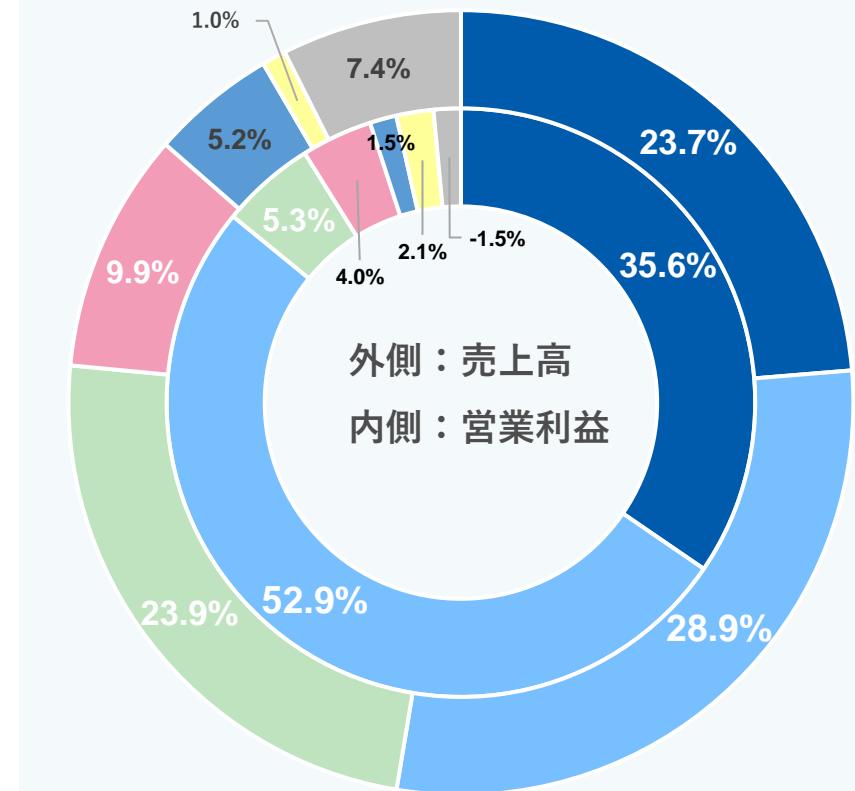
FY 3/19 実績	82.1
FY 3/23 実績	55.1
FY 3/24 業績予想	85.5



## セグメント別構成比 FY 3/24 業績予想

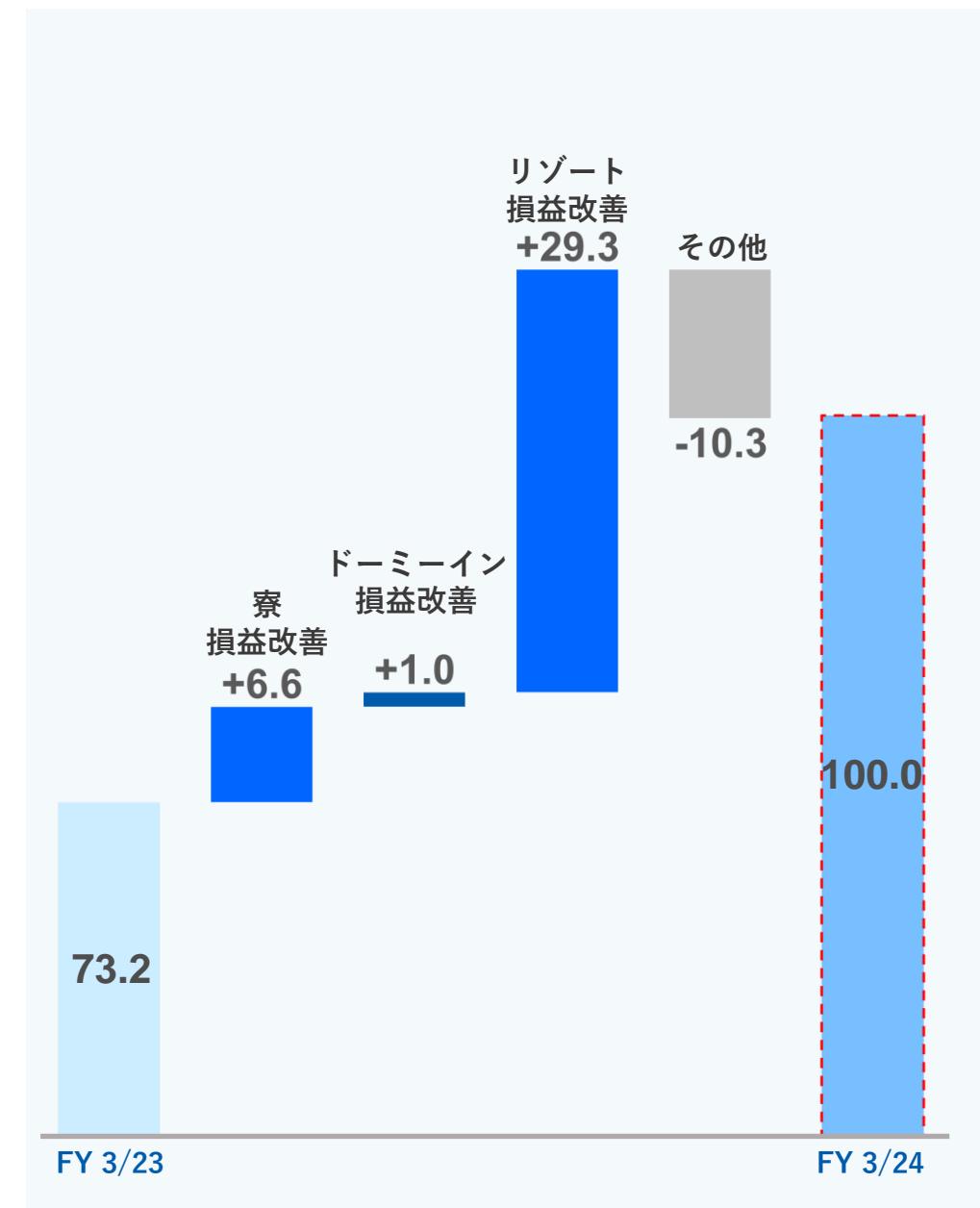
(セグメント間内部取引消去前)

■ 寮 ■ ドーマーイン ■ リゾート  
■ 総合ビルマネジメント ■ フーズ  
■ デベロップメント ■ その他



# 連結業績予想：主要セグメント四半期別営業利益

営業利益 (億円)		1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	通期
寮事業	FY 3/19 実績	19	17	14	26	78
	FY 3/23 実績	12	9	5	17	45
	FY 3/24 業績予想	13	10	6	21	52
	前期対比	+1	+0	+1	+4	+6
ドーマーイン事業	FY 3/19 実績	15	23	21	6	66
	FY 3/23 実績	14	26	29	6	76
	FY 3/24 業績予想	22	27	23	4	77
	前期対比	+7	+0	-5	-1	+1
リゾート事業	FY 3/19 実績	-1	11	5	0	15
	FY 3/23 実績	-13	-0	2	-9	-21
	FY 3/24 業績予想	-6	12	6	-4	7
	前期対比	+6	+12	+4	+5	+29
その他事業	FY 3/19 実績	-7	3	-1	-8	-14
	FY 3/23 実績	-3	-6	-8	-8	-27
	FY 3/24 業績予想	-11	-10	-9	-6	-37
	前期対比	-7	-2	-0	+1	-10
合計	FY 3/19 実績	25	54	40	25	145
	FY 3/23 実績	10	28	28	5	73
	FY 3/24 業績予想	17	39	27	14	100
	前期対比	+7	+10	-1	+9	+26



# 連結業績予想 寮事業：売上高及び営業利益

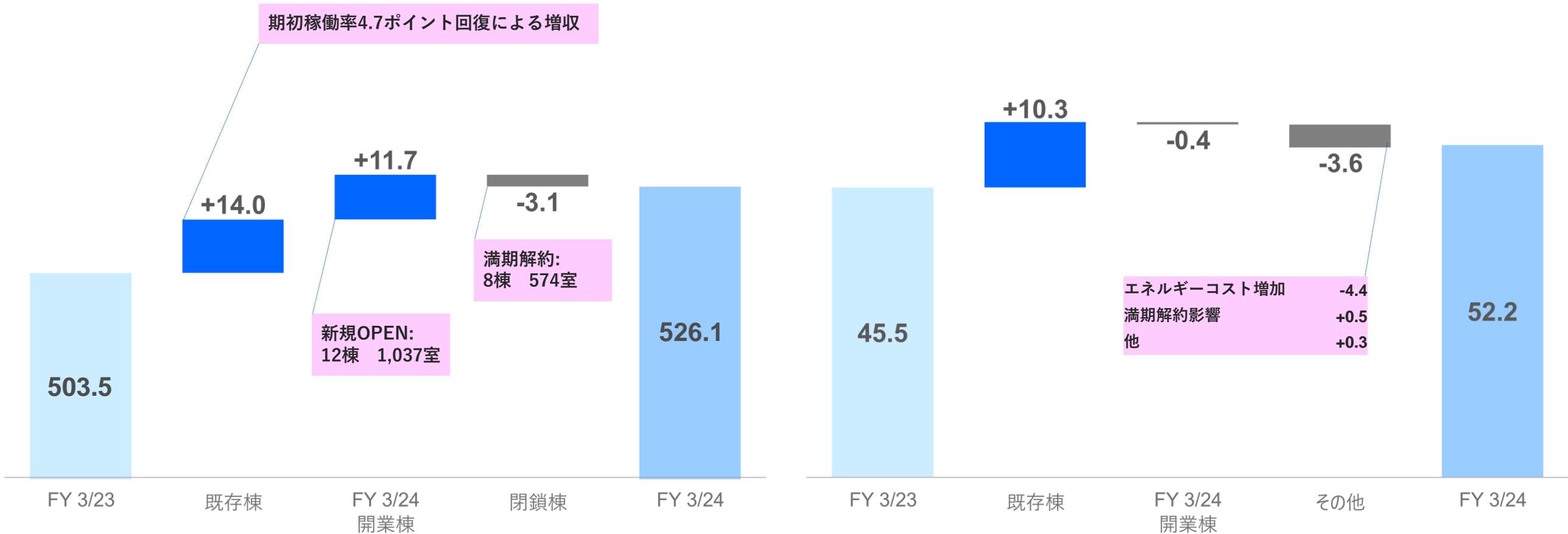
(億円)

## 売上高

前年同期から 22億円 / 4.5%の増収

## 営業利益

前年同期から6.6億円/ 14.7%の増益



# 連結業績予想 ドーミーイン事業：売上高及び営業利益

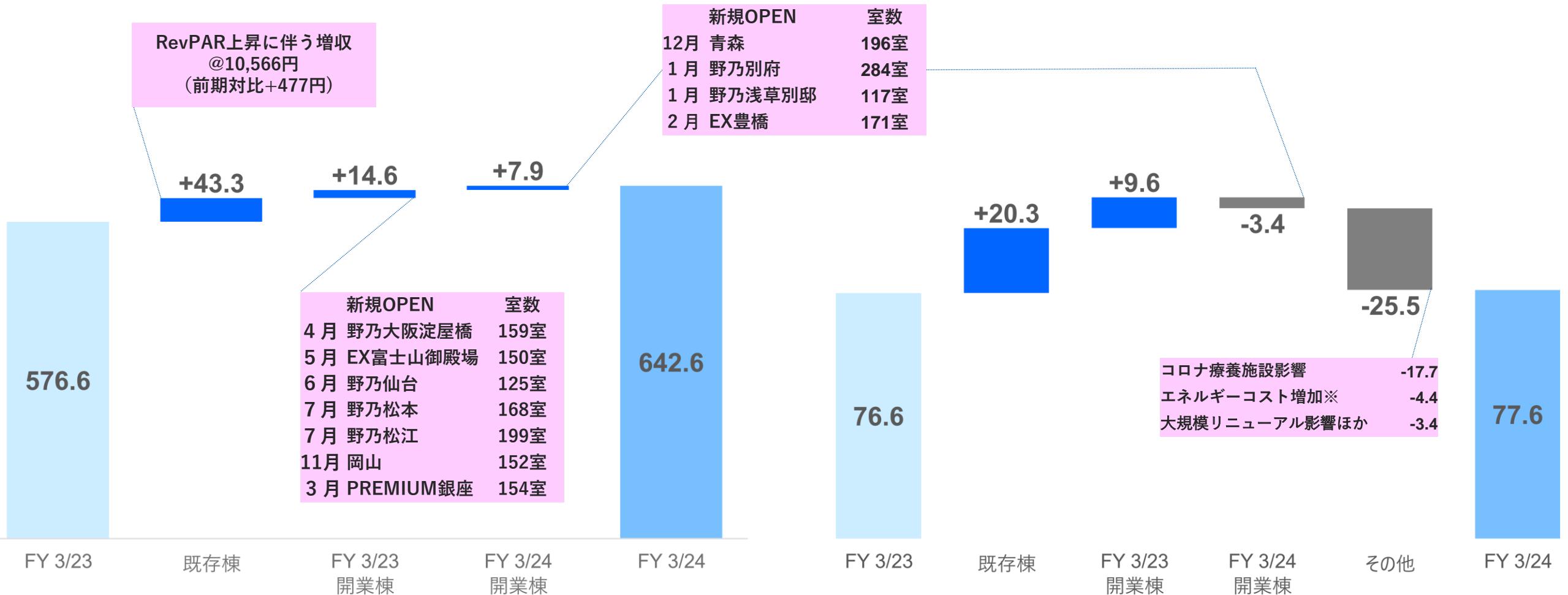
(億円)

## 売上高

前年同期から 66億円 / 11.5%の増収

## 営業利益

前年同期から 1.0億円/ 1.3%の増益



※RevPAR換算でエネルギーコストの上昇は+80円、前期対比+477円のRevPAR回復をもって吸収

# 連結業績予想 リゾート事業：売上高及び営業利益

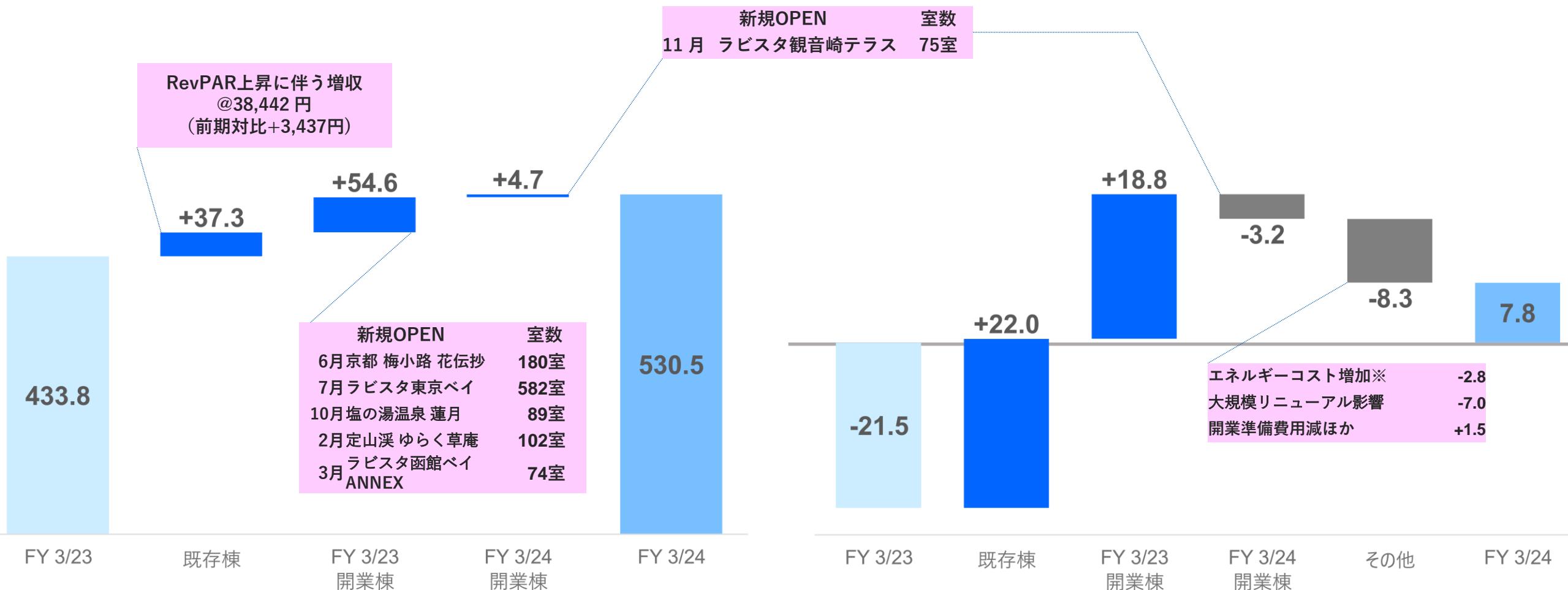
(億円)

## 売上高

前年同期から 96億円 / 22.3%の増収

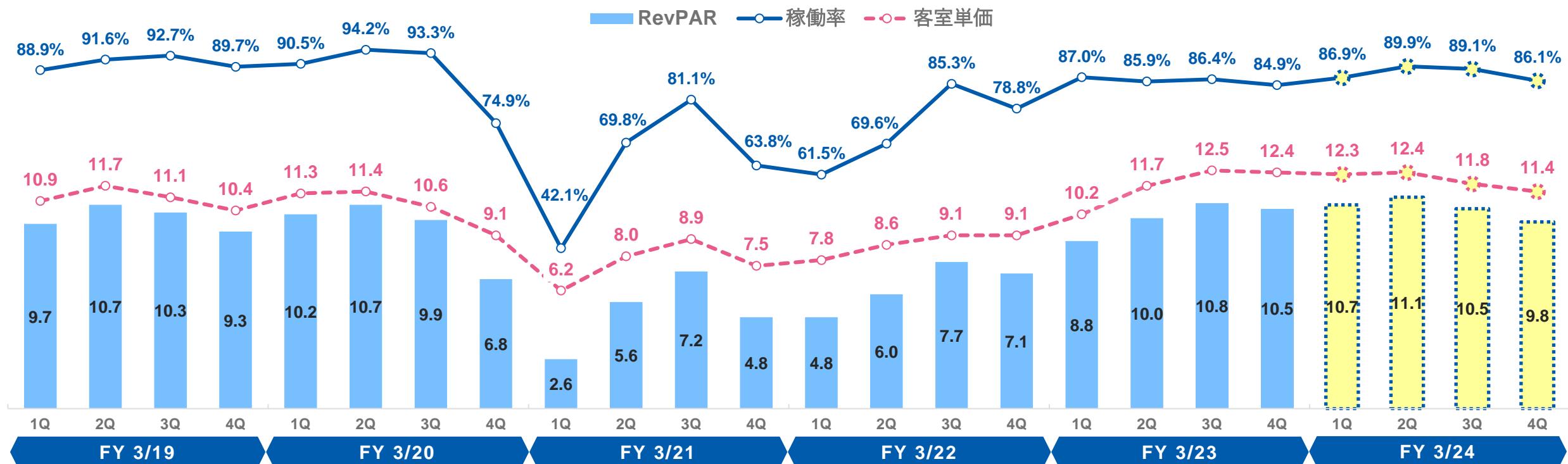
## 営業利益

前年同期から 29.3億円の増益



※RevPAR換算でエネルギーコストの上昇は+249円、前期対比+3,437円のRevPAR回復をもって吸収

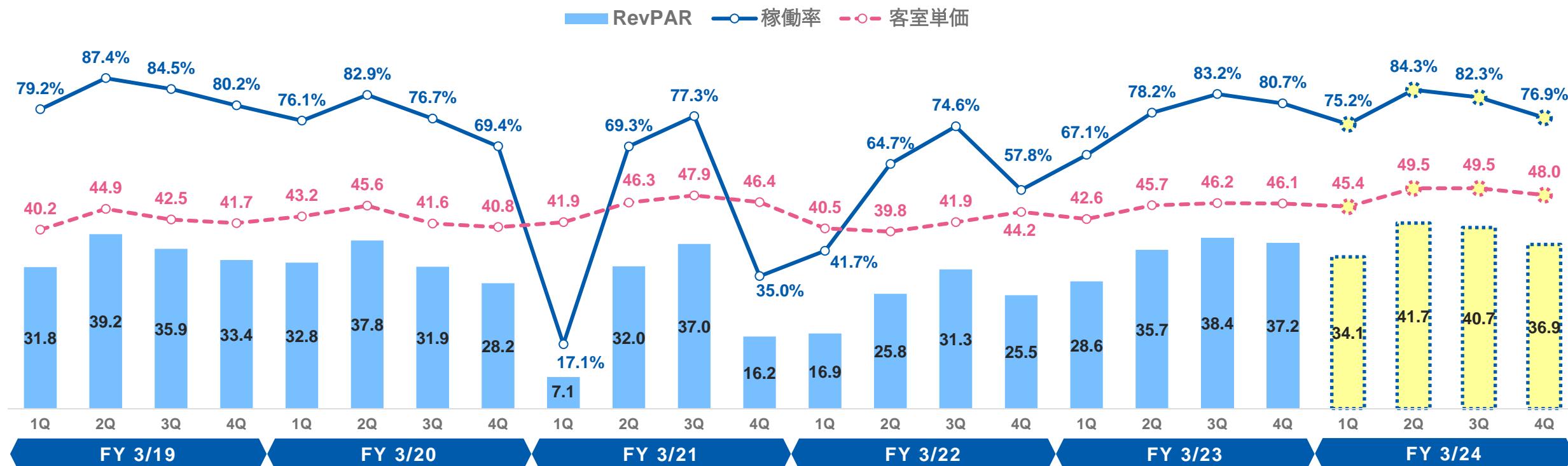
# 連結業績予想 ドーミーイン事業：KPI四半期推移



	稼働率					客室単価					RevPAR						
	(%)	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	(千円)	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	(千円)	1Q	2Q	3Q	4Q
FY 3/19	88.9	91.6	92.7	89.7	90.8	10.9	11.7	11.1	10.4	11.0	9.7	10.7	10.3	9.3	10.0		
FY 3/20	90.5	94.2	93.3	74.9	88.1	11.3	11.4	10.6	9.1	10.6	10.2	10.7	9.9	6.8	9.4		
FY 3/21	42.1	69.8	81.1	63.8	64.7	6.2	8.0	8.9	7.5	7.9	2.6	5.6	7.2	4.8	5.1		
FY 3/22	61.5	69.6	85.3	78.8	73.9	7.8	8.6	9.1	9.1	8.7	4.8	6.0	7.7	7.1	6.4		
FY 3/23	87.0	85.9	86.4	84.9	86.1	10.2	11.7	12.5	12.4	11.7	8.8	10.0	10.8	10.5	10.0		
<b>FY 3/24 業績予想</b>	<b>86.9</b>	<b>89.9</b>	<b>89.1</b>	<b>86.1</b>	<b>88.0</b>	<b>12.3</b>	<b>12.4</b>	<b>11.8</b>	<b>11.4</b>	<b>12.0</b>	<b>10.7</b>	<b>11.1</b>	<b>10.5</b>	<b>9.8</b>	<b>10.5</b>		
FY 3/19対比	-1.9pt	-1.8pt	-3.5pt	-3.7pt	-2.8pt	+1.3	+0.6	+0.6	+1.0	+0.9	+0.9	+0.3	+0.2	+0.4	+0.5		
前期対比	-0.1pt	+4.0pt	+2.7pt	+1.2pt	+1.9pt	+2.1	+0.7	-0.7	-1.0	+0.2	+1.8	+1.1	-0.3	-0.7	+0.4		

(注) 3期を同一条件下で比較するために2022年4月以降に開業したホテルを除外

# 連結業績予想 リゾート事業：KPI四半期推移



	稼働率					客室単価					RevPAR						
	(%)	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	(千円)	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	(千円)	1Q	2Q	3Q	4Q
FY 3/19	79.2	87.4	84.5	80.2	82.8	40.2	44.9	42.5	41.7	42.4	31.8	39.2	35.9	33.4	35.1		
FY 3/20	76.1	82.9	76.7	69.4	76.2	43.2	45.6	41.6	40.8	42.9	32.8	37.8	31.9	28.2	32.7		
FY 3/21	17.1	69.3	77.3	35.0	51.8	41.9	46.3	47.9	46.4	46.6	7.1	32.0	37.0	16.2	24.1		
FY 3/22	41.7	64.7	74.6	57.8	59.9	40.5	39.8	41.9	44.2	41.6	16.9	25.8	31.3	25.5	24.9		
FY 3/23	67.1	78.2	83.2	80.7	77.3	42.6	45.7	46.2	46.1	45.3	28.6	35.7	38.4	37.2	35.0		
<b>FY 3/24 業績予想</b>	<b>75.2</b>	<b>84.3</b>	<b>82.3</b>	<b>76.9</b>	<b>79.7</b>	<b>45.4</b>	<b>49.5</b>	<b>49.5</b>	<b>48.0</b>	<b>48.2</b>	<b>34.1</b>	<b>41.7</b>	<b>40.7</b>	<b>36.9</b>	<b>38.4</b>		
FY 3/19対比	-3.9pt	-3.1pt	-2.2pt	-3.3pt	-3.1pt	+5.2	+4.5	+7.0	+6.2	+5.7	+2.3	+2.4	+4.8	+3.4	+3.2		
前期対比	+8.1pt	+6.1pt	-0.9pt	-3.8pt	+2.5pt	+2.7	+3.7	+3.2	+1.8	+2.9	+5.5	+5.9	+2.3	-0.3	+3.4		

(注) 3期を同一条件下で比較するために2022年4月以降に開業したホテルを除外

# 寮事業およびホテル事業の新規開業

	FY 3/20		FY 3/21		FY 3/22		FY 3/23		FY 3/24	
寮・ドミール	+15棟*	+1,574室*	+15棟*	+1,181室*	+21棟*	+1,928室*	+20棟*	+1,971室*	+12棟*	+1,037室*
	期末棟数	494棟	期末棟数	507棟	期末棟数	512棟	期末棟数	511棟	期末棟数	518棟
	期末定員室数	40,633室	期末定員室数	41,927室	期末定員室数	42,551室	期末定員室数	43,291室	期末定員室数	44,085室
	リース比率	87.6%	リース比率	87.0%	リース比率	86.7%	リース比率	86.6%	リース比率	86.9%
	[L]仙台東口V、[L]本山 [L]大阪天満、[L]鹿児島 [L]神戸、[L]市ヶ谷、[L]駒込 明治大学グローバルレジ [L]世田谷等々力 他		[L]北大Avenue、[L]日暮里 [L]仙台榴ヶ岡、[L]長久手 [L]浜田山、[L]駒沢公園 [L]江坂公園、[L]横浜西 [L]百万遍アネックス [L]麻布十番 他	[L]坂戸花町、新潟明石通り [L]中央大学南平、[L]入谷 [L]Duo自由が丘、[L]亀有 [L]アンジェリーク・コア [L]鶴舞公園、[L]大阪福島 [L]京都くいな橋、玄南荘 他	[L]西新宿、帝京大学八王子 [L]宇都宮、[L]東海大学前 [L]柏、[L]札幌大谷地 [L]仙台山本丁、[L]南森町 [L]西宮北口、[L]京都山科 [L]小倉さくら通り 他	[L]弘前、[L]仙台小松島 [L]仙台鉄砲町、[L]山形本町 [L]あすと長町、[L]大塚 [L]葛西グローバルハウス [L]中野坂上、[L]相模大野 [L]大和南、[L]京都西院、[L]神戸山手				
ドミーイン	+7棟*	+1,535室*	+4棟*	+1,166室*	+2棟*	+471室*	+7棟*	+1,107室*	+4棟*	+768室*
	期末棟数	87棟	期末棟数	85棟	期末棟数	85棟	期末棟数	91棟	期末棟数	95棟
	期末定員室数	14,783室	期末定員室数	15,219室	期末定員室数	15,468室	期末定員室数	16,435室	期末定員室数	17,203室
	リース比率	99.0%	リース比率	99.1%	リース比率	99.1%	リース比率	99.1%	リース比率	97.5%
	[L]前橋、[L]PREMIUM福井 [L]盛岡、[L]野乃浅草 [L]川崎、[L]ラビスタ富良野 [L]水戸		[L]PREMIUM長崎駅前 [L]野乃京都七条 [L]神戸元町 [L]池袋	[L]野乃金沢 [L]広島ANNEX	[L]野乃大阪淀屋橋 [L]EXPRESS富士山御殿場 [L]野乃仙台、[L]野乃松本 [L]野乃松江、[L]岡山 [L]PREMIUM銀座	EXPRESS豊橋 野乃浅草別邸 [L]野乃別府 [L]青森				
リゾート	+3棟*	+224室*	+3棟*	+297室*	+1棟*	+69室*	+5棟*	+1,027室*	+1棟*	+75室*
	期末棟数	34棟	期末棟数	36棟	期末棟数	37棟	期末棟数	41棟	期末棟数	42棟
	期末定員室数	2,872室	期末定員室数	3,135室	期末定員室数	3,239室	期末定員室数	4,193室	期末定員室数	4,283室
	リース比率	61.6%	リース比率	58.5%	リース比率	66.0%	リース比率	71.6%	リース比率	72.2%
	[L]越後湯沢 雪の花 [L]ことひら温泉 御宿 敷島館 稲住温泉		修繕寺温泉 桂川 奥飛騨温泉 平湯館 [L]和倉温泉 能登海舟	[L]ラビスタ草津ヒルズ	[L]京都梅小路 花伝抄 [L]ラビスタ東京ベイ 塩の湯温泉 蓮月 [L]定山溪 ゆらく草庵 [L]ラビスタ函館ベイANNEX	[L]ラビスタ観音崎テラス				
全社リース比率	89.2%	全社リース比率	88.5%	全社リース比率	88.7%	全社リース比率	88.8%	全社リース比率	88.7%	

\* 開発案件の棟数・室数の増加数を示している（期末稼働棟数・室数の前期末からの増加数を表しているものではない）

（注） [L] はリース案件、下線を引いている文字は不動産流動化可能の案件

## 重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation) 」とは、本プレゼンテーションにおいて株式会社 共立メンテナンス (以下、「共立」) によって説明または配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答および書面または口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション (それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます) は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申し込み、交換、売却その他の処分の提案、案内もしくは勧誘またはいかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではありません。

共立が直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「共立」という用語は、共立およびその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社 (we、usおよびour) 」という用語は、子会社全般またはそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

### 将来に関する見通し情報

本プレゼンテーションおよび本プレゼンテーションに関して配布された資料には、共立の見積もり、予測、目標および計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念または見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets) 」、「計画する (plans) 」、「信じる (believes) 」、「望む (hopes) 」、「継続する (continues) 」、「期待する (expects) 」、「目指す (aims) 」、「意図する (intends) 」、「だろう (will) 」、「かもしれない (may) 」、「すべきであろう (should) 」、「であろう (would) 」、「することができた (could) 」、「予想される (anticipations) 」、「見込む (estimates) 」、「予想する (projects) 」などの用語または同様の用語もしくはその否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。この書類における将来見通し情報は、現在当社が入手可能な情報に鑑みて行った当社の現在の前提および理念に基づくものです。かかる将来見通し情報は、当社または当社の役員による、将来の業績に関する保証を表すものではなく、既知および未知のリスクとその不確実性、その他の要素を伴います。リスクと不確実性には、日本および世界中の一般的な経済条件を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競合品の出現・開発、規制当局による判断とその時期、自然災害などが含まれますが、これらに限られません。これらにより、当社の実際の業績、経営結果、財務内容は、将来見通し情報において、明示または暗示された将来の業績、経営結果、財務内容とは、大きく異なる可能性があります。当社または当社の役員は、この将来見通し情報において示された予想が結果的に正しいということは何ら保証するものではなく、実際の業績または経営結果は予想と大きく異なることがあります。本プレゼンテーションの受領者は、将来見通し情報に過度に依存するべきではありません。共立は本プレゼンテーションに含まれる、または当社が提示するいかなる将来見通し情報について、これを更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また本プレゼンテーションにおける共立の経営結果は当社の将来の経営結果を示すものではなく、またその予測、予想または見積もりではありません。

よい朝のために。

よい朝のために。

**KYORITSU**  
**HOTELS & DORMITORIES**